

サポートセンター通信

発行日：平成30年11月15日 第78号

発行元：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13

松本市役所大手事務所 2階

TEL/FAX: 0263-88-2988

Mail: support-center@support-center.jp

URL: http://www.support-center.jp

No. 78

市民活動フェスタ—ぼくらの学校— 無事終了しました

10月6日～8日にかけて、市民活動フェスタ—ぼくらの学校—が開催され、3日間の来場者数は約1,860名（6日：300名、7日：600名、8日：960名）となりました。予想以上の来場者数に驚きましたが、多くの市民の皆さまに日頃の活動を知っていただく機会になったのではないかと思います。参加団体との振り返り会や来場者アンケートの結果を踏まえて、来年度へつなげていきたいと思ひます。



／ご協力ありがとうございました！／



市民活動フェスタ期間中、「みんなでボランティア大作戦！！」を行い、たくさんのペットボトルのキャップとプルタブが集まりました。後日、松本市社会福祉協議会へ寄付いたしました。寄付後は、世界各地の子どもたちが接種するワクチンとなるそうです。初めての試みでしたが、多くの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

信州親子の会

住所：諏訪郡下諏訪町広瀬町 5324
 TEL：090-3432-1888（代表：細川洋）
 facebook：「SMAIL BALLOON PROJECT」で検索



※市民活動フェスタ
 『ほくらの学校』にて

今年設立したばかりの信州親子の会。「離婚を経験した当事者だからこそ、同じ悩みを抱える人たちに寄り添いたい」という思いから活動を始めました。現在は松本市を中心に、主に「離婚後の共同養育」についての啓発活動をしています。

共同養育とは、両親の離婚後も子どもが両親の家を行き来することにより、両親が共に子育てをすることを言います。日本では、離婚後はどちらか一方の親のみ親権を持つことのできる、単独親権制度が採用されています。そのため、約70%の子どもたちは離れて暮らす親と会えなくなり、大きな喪失体験となります。心のケアを十分にしないまま成長すると、うつや不登校等の問題がおこりやすいと言われています。

また、離婚する（した）当事者も、離婚後の子どもとの関わりについて、誰にも相談できずに一人で悩みを抱え込んでしまうケースが多いそうです。代表の細川洋さんと副代表の北林麻記さんも、かつてはその一人だったそうです。しかし、同じ悩みを抱える仲間に出会い共有することで、一人で思い悩むことが減り、とても楽になったと言います。

そこで、子どもにとって良い環境を整え、離婚後の家族のこれからを支援していくにはどうしたらいいのか？と考えた結果、離婚後の共同養育について広く知ってもらうための啓発活動を始めたそうです。

現在は、様々なイベントに参加し、同じ悩みを持つ方の話を聞くとともに、アドバイス等もしています。さらに、必要であれば適切な専門機関の紹介も行っています。先日開催した市民活動フェスタでも、『みんなで考える子どもの気持ち—離婚後の共同養育とは—』と題し、講座を開いてくださいましたが、受講者の方が熱心に耳を傾けていたのが印象的でした。また、講師を務めた細川さんや北林さんの思いが伝わる、内容の濃い講座でした。

離婚や別居は、どの家庭でも起こりうる問題であるため、どのように情報発信をしていくかが今後の課題だそうです。「離れても、子育てはふたりで。子ども達にとって、父と母に変わりありません」「誰かに話を聞いてもらえると気持ちが軽くなります。ぜひご相談ください」と笑顔で語っていただきました。（上條）

INFORMATION

お問合せ・お申込みは、各団体に直接お願いします!

■ イベント情報

●何が違うの？日本とドイツ =ドイツから学ぼう=
 環境・自然エネルギー・原発 ドイツは？日本は？
 日時：11月23日（金・祝）14：00～16：30（13:30開場）
 会場：松本市大手公民館 大会議室
 定員：100名
 入場料：信州自遊塾・長野県日独協会会員/無料、一般/500円
 主催：信州自遊塾
 お問合せ：090-4463-6182（くぼた）
 090-4911-8209（まつもと）
 申込み：信州自遊塾HP「講座申込フォーム」に入力または
 FAX0263-77-5437にて送信

●サンタ・プロジェクト・まつもと2018
 あなたもサンタクロースになりませんか？
 参加方法：提携している書店にて本を購入し、メッセージカードを記入
 購入期間：12月1日（土）～9日（日）
 購入場所：ちいさいおうち書店、TSUTAYA 北松本店、平安堂あづみ野店、宮脇書店松本店、改造社書店松本駅前店、興文堂アイシティ店、信州大学生協、松本大学生協
 呼びかけ：サンタ・プロジェクト・まつもと
 事務局：NPO法人ライフデザインセンター
 TEL/FAX 0263-46-2020



■ ボランティア募集情報

●全国都市緑化信州フェア 信州花フェスタ2019
 活動期間：2019年4月25日（木）～
 6月16日（日）
 活動時間：9:30～16:30（詳細はHPをご覧ください）
 活動場所：信州スカイパーク（松本平広域公園）
 活動内容：①会場運営サポート（3日以上参加）
 ②会場サービス③花緑の維持管理（1日以上参加）
 ☆メイン会場での説明会（会場案内）を行います！！
 日時：12月12日（水）9:00～12:00
 会場：信州スカイパーク（松本平広域公園）
 募集期間：12月7日（金）まで
 募集人数：30名程度

応募方法：公式HPから、または事務局に申込票を提出
 お問合せ：事務局 丸山、沢邊（さわべ）
 TEL 0263-88-1182

イベント情報やボランティア募集情報、嬉しいニュースなどございましたら、サポートセンターまでお寄せください。サポートセンター通信やホームページに掲載いたします。

ママの働き方応援隊長野松本校主催「赤ちゃん先生」の授業を見学してきました

ママの働き方応援隊長野松本校が、松本を中心に「赤ちゃん先生プロジェクト」を始めて4年が経ちました。今回は、活動開始当初から授業を行っている筑摩小学校での1回目と2回目の授業にお邪魔しました。

6月28日(木)に行われた1回目の授業。初めて赤ちゃん先生と対面した児童たちは、どこか戸惑いながら接している印象を受けました。それでも、ママ講師から赤ちゃん先生の一日のスケジュールを聞いたり、お気に入りのおもちゃで遊ぶうちに、表情もやわらかくなっていきました。中には、不安そうに赤ちゃん先生を抱っこする児童も。2つのクラスの授業を見学しましたが、どちらの授業も温かくて優しい空間となっていました。



2回目の授業は、約3ヶ月が経過した9月27日(木)に行われました。今回のテーマは「赤ちゃんとお話しよう」。まずは、「ちくちくことば」(バカ、うるさい、などネガティブな言葉)と「ふわふわことば」(ありがとう、どういたしまして、などポジティブな言葉)について知り、赤ちゃんに接するときの言葉遣いなどを学びました。3ヶ月の間に成長した赤ちゃん先生に驚きながらも、すぐに距離を縮める児童たち。手足の大きさを比べたり、抱っこをして体重が重くなったことに気づいたり、ずりバイができるようになった赤ちゃん先生と一緒にずりバイで競争をしたりと、赤ちゃん先生の成長を心から喜んでいるのが伝わってきました。



授業後、ママ講師から「赤ちゃん先生が眠くて泣いてしまったが、眠いから泣いているということに気づいてくれた」「泣くのも赤ちゃんのことばなんだね、と教えてくれた」「なんで泣いているのかな?と一緒に考えてくれた」という感想があり、児童たちが「赤ちゃんが泣くこと=こわいこと、わるいこと」ではないと気付いたということ、2回目でそのような言葉が児童たちから出ること到大変驚きました。また、あえて「ちくちくことば」を赤ちゃん先生に言ってみて、と言っても「赤ちゃん先生がかわいそう」と嫌がって言えない児童が多数で、赤ちゃんだけでなく

同級生にも「ふわふわことば」で接したいという感想もありました。

産まれてきたことの奇跡やいのちの偉大さを学ぶ目的で行われている「赤ちゃん先生プロジェクト」。いのちの偉大さに気づくことで自己肯定感が高まり、いじめや自殺防止につながるそうです。小学校(中学校)以外にも、高校・大学向け、高齢者施設向けのプログラムがあり、長野松本校では高齢者施設でも開催を始めたそうです。高齢者施設の場合、赤ちゃん先生を卒業した小学生なども参加し、けん玉など昔ながらの遊びを一緒に楽しむそうです。

「子育て中のママだからこそできることがある」と、活動をすすめるママの働き方応援隊長。ママ講師・トレーナーになるにはそれぞれ養成講座の受講が必要ですが、赤ちゃん先生の授業では謝礼が支払われるため、赤ちゃんと一緒に働きたいと考えているママを応援してくれるという一面もあります。

授業をしてほしい教育機関・高齢者施設の皆さん、またトレーナー・ママ講師として活動に参加したい方は、ぜひお問い合わせください。(草間)

高校・大学向けプログラム: 親になる準備・責任の実感、結婚出産を視野に入れたキャリアの確立、パートナーや家族の存在・働くことの大切さを考える
高齢者施設向けプログラム: 未来へつなげる命を感じて生きる希望を持つ、子育ての知恵・文化の継承を通して次世代へ伝えていく使命感を感じる

サポートセンター通信76号Close Up!の記事もご覧ください。サポセンHPなどでご覧いただけます。

赤ちゃん先生を抱っこ。授業中はママ講師とトレーナーがサポートします。



ママの働き方応援隊長: 2007年に神戸市でNPO法人として設立し、その後全国に活動を広める。「赤ちゃん先生プロジェクト」「ママ脳大学」「お仕事倶楽部」など、女性が出産後も働き続け社会参加できる事業を展開。
長野松本校お問い合わせ: haruka.shiose@gmail.com

サポートセンター職員の素顔を リレー方式で紹介!!

サポセン スタッフ日記 上條

こんにちは。市民活動サポートセンターの上條です。サポートセンターで働き始めてから約半年が過ぎました。

私は、平日や土曜日の夜の勤務が主になります。窓口業務のほかに、サポートセンターを利用されるみなさんに登録団体の活動を知っていただけるよう、新聞記事などから情報収集しています。勤務時に関わることのできる団体のみなさんや利用者のみなさんとの何気ない会話から、いつも元気をもらっています。

趣味は、3年前から始めた御朱印集めです。御朱印帳は、今年で2冊目になりました。出かけた先でふと立ち寄るときには、置き書きとしていただいています。最近はお宝もあり、御朱印帳も可愛いものがありますね。その土地に古くからあるお寺や神社でしか味わえない、幻想的で凛とする雰囲気も好きです。ゆっくりと流れる時間がとても心地良くて、かけがえのないものに感じられます。

業務では、サポートセンターのほかのスタッフのみなさんに支えてもらいながらの毎日ですが、これからもどうぞよろしくお願い致します。



市民活動フェスタにて、社会福祉協議会のつむぎちゃんど

NPO セミナーを開催します

- ①1月15日：ソーシャルビジネスとNPO法人の設立講座
- ②1月22日：地域社会のためのイベントのつくり方
- ③1月29日：市民活動をすすめるチームづくり
- ④2月5日：イベントや団体を知ってもらえる広報
- ⑤2月12日：活動を続け発展させるための資金調達

※すべて火曜日、10：00～12：00

単発受講可能です。申込みは12月1日（土）から開始します。詳しくは、「広報まつもと12月号」またはサポセンHPをご覧ください。（松本市内の公民館・福祉ひろばなどでもチラシをご覧ください）



パネル展示スケジュール

- 11月：NPO法人
 中信多文化共生ネットワーク
 - 12月：まつもと震災支援ネット
 - 1月：フリマネット信州
 - 2月：松本市子育てコミュニティ
 サイトプロジェクト
 - 3月：認定NPO法人
 日本チェルノブイリ連帯基金
- サポートセンターフリースペースにて。
ぜひお越しください！！

平成31年度

「地域発 元気づくり支援金」 県が説明会を開催します

日時：12月26日（水）13：30～

会場：長野県安曇野庁舎

（安曇野市豊科4960番地1）

詳細は、県HPをご参照のうえ

長野県松本地域振興局 企画振興課

TEL 0263-40-1902 まで

「地域発 元気づくり支援金」獲得セミナーを開催します

日時・会場：

①12月10日（月）19：00～20：30（市民活動サポートセンター）

②12月11日（火）19：00～20：30（芳川公民館・視聴覚室）

対象：会則のある団体（NPO、ボランティア団体、町会、地域活動団体など）

内容：「地域発 元気づくり支援金って何？（概要説明）」

「元気づくり支援金 計画書の作成ポイント」

参加費：無料 定員：各日先着30名 主催：松本市

申込み：12月3日（月）17：00まで

地域づくり課協働推進担当（市民活動サポートセンター）

TEL：0263-34-3264 FAX：0263-88-2988

「しおじりまちづくりフェスティバル」 「ボランティア交流集会」に参加します

しおじりまちづくりフェスティバル

11月17日（土）10：00～15：00

えんぱーく3階にて、ブース出展します

ボランティア交流集会

11月17日（土）13：30～15：30

豊科ふれあいホールにて、パネル展示します

新規登録団体紹介

音色くらぶ

環境・健康・福祉の三つを基盤に、地域社会を支援する。ボランティア活動を通じ、社会の円滑を図る。

上高地パークボランティアの会

公園施設の維持管理・野生動物の保全活動・利用者案内・自然解説・その他事務作業などを行う。

プラチナサロン 12月

日時：12月13日（木）10:00～15:00

午前の部 絵手紙

午後の部 ふれあいサロンに参加

会場：市民活動サポートセンター

対象：おおむね55歳以上

参加費：300円（お茶代）

イルミネーション

イルミネーションと言えば、子ども心にワクワクした「寝つらいクリスマスツリー」。もちろん豆電球やムギ球で、電気代もかかるし発熱もします。よって我が家では1～2時間の点灯で強制終了。それでモチモチと点滅しているだけで大満足でした。その後、LEDの進化（長寿命・省エネ・低価格化など）がイルミネーションの概念を一掃します。街中の街路樹や公園、一般家庭でもすごいことに!!そもそもイルミネーションとは?調べてみました。
「森の中で煌めく星を見て感動し、木の枝に多くの口ウソクを飾ることでその景色を再現しようとした」そのまんま!!笑
しかし、感動に至ったという「森の中で煌めく星」。一度見てみたいなあ。(笹松)

ふれあいサロン

日時：12月13日（木）10:30～14:00

10:30～13:00 障がい者施設による販売会

13:00～14:00 生演奏での合唱

会場：市民活動サポートセンター

対象：どなたでも

参加費：無料



プラチナサロン 1月

日時：1月10日（木）10:00～15:00

午前の部 新春寄席

午後の部 正月遊び

会場：市民活動サポートセンター

対象：おおむね55歳以上

参加費：300円（お茶代）

編集後記

市民活動フェスタが終了しました。予想以上の来場者で嬉しい悲鳴となりましたが、昨年のことを覚えていて、今年も楽しみに来ました！という声もあり、とても嬉しかったです。参加団体の皆さまもお疲れさまでした。気が付けば今年最後の通信発行となりましたが、1月からNPOセミナーを皮切りに事業が続きます。皆さま、来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。良いお年を。(草間)